

下田メディカルセンター広報誌

下田MCLセンター

2025.9.1 発行

vol. 37



JMAグループフォーラム2025

スポーツ交流会、同好会紹介

「第2段階のACP」に関する勉強会 開催

第60回メディカル健康講座 開催報告

JMAグループフォーラム2025

今年も6月22日(日)、パシフィコ横浜にて「JMAグループフォーラム2025」が盛大に開催されました。「JMAグループ」(以下「グループ」)は、埼玉県・神奈川県・静岡県で医療・介護サービスの提供を行っている「社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス」「医療法人社団静岡メディカルアライアンス」「社会福祉法人ケアネット」の3法人でしたが、今年4月より、神奈川県小田原市内で医療・介護サービスを提供する「医療法人社団敬仁会」が新たに加わり、4法人構成になると共に、グループ全体の職員数も4,000人を超える規模となりました。

当グループでは、昨年度より新たな中期計画として「SHINKA2027」を策定しております。敢えて「SHINKA」としたのは、言葉の中に「深化、進化、真価、新価」といった様々な意味が込められており、法人として多様な「しんか」をしていくという決意でもあります。フォーラムでは埼玉・神奈川・静岡の各エリアの事業報告及びそれぞれが取り組んでいる「SHINKA」についての発表や、職員が日々の業務の中で取り組んでいる業務効率化、サービスの質・提供量の増加方法などについての発表と表彰がありました。また、フォーラムの後には懇親会も開かれ、久しぶりに会った仲間たちと談笑しながら、近況報告をし合う楽しい時間を過ごすことができました。

毎年参加させていただき思うことは、大切なのはやはり「人」だということです。仕事をするにあって顔の見える関係、信頼できる関係はとても重要です。そして、患者さんを大切にする、職員を大切にしていくことが、延いてはグループが掲げる目標の「100年続く法人」になっていくものと考えます。改めてグループの方向性を下田地区の全職員で共有し、法人全体が同じベクトルで目標に邁進していくよう、日々業務に取り組んでいきます。

総務課 課長 加畑 哲也



バレーボール同好会

昨年よりバレーボール同好会を立ち上げ、ほぼ毎週金曜日に体育館で練習を行っています。メンバー同士の交流を深めながら、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく汗を流しています。

年に1~2回、他院との交流試合を行っており、バレーボールを通じて他院の方々との新たなコミュニケーションの場にもなっています。機会があれば交流試合を楽しみましょう。

管理課 平山 清華



ゴルフ同好会

下田メディカルセンター ゴルフ同好会はクラチャンに挑戦する上級者からゴルフを始めたばかりの方まで幅広い経験者が参加しています。医師、看護師、コメディカル、事務員と参加する職種は様々です。年に3、4回ほどコンペを開催していますが、その間も一緒に練習に行ったり、プライベートでもゴルフに行ったりとゴルフを通じて職員間の交流が生まれています。また、時々他施設の方もゲストでお招きして参加していただいております。院内外ともとても良い交流の場となっています。

医事医療サービス課 主任 萩原 勇一



スポーツ交流会参加について

昨年より始めました、伊東市民病院主催「スポーツ交流会」に今年も参加してきました。

当日は、バレーボールとバスケットボールを行い、大いに盛り上がりました。当院は昨年に引き続き、バレーボールに参加しました。当日はバレーボール同好会のメンバーを中心にプレーし、日頃の活動結果が現れた試合結果となりました。とはいえ、スポーツ交流会の目的は「医療機関の垣根を超えて日頃のストレスを発散し楽しむ」ことだと思います。

今後、当院でも当地域の医療機関に対して、上述の目的にて交流会等の開催を検討していきます。もし、当院同好会との交流及び練習試合等をご希望される際は、お気軽にお尋ね頂ければと思います。

管理課 課長 杉本 裕一



賀茂地区内 医療・介護・福祉従事者を対象とした「第2段階のACP」に関する勉強会 開催報告

賀茂地区在宅医療介護連携推進支援センターでは、賀茂地区の医療・介護・福祉・行政の従事者を対象とした「第2段階のACP」に関する勉強会を開催しました。

この勉強会は、現在、市町や地域包括支援センター等による、住民を対象とした「第1段階のACP」の普及発活動が進められていますが、そこから一歩踏み出し、個人の健康状態や状況に応じ本人、家族、支援者との3者で個別に実施する「第2段階のACP」について、支援にあたる多職種の方がその重要性を理解し、本人らしい選択が出来る為の支援に向けたノウハウを学び、適切なサポートを提供することで、住民が安心して医療やケアを受けられる体制を構築していくことを目的としました。

勉強会開催案内の反響は大きく、50名の募集定員に対して80名を超える申し込みがあり、急遽参加枠を増やし、最終的に82名の方が参加となりました。講師には静岡県医師会理事でいらっしゃる、たけなな三島東町クリニック医院長 竹中俊介先生をお招きし、先生の講演と、シズケアサポートセンターで先生が中心となり作成した「第2段階のACPに対応した多職種連携ツール、シズみんシート」について、その作成意義や活用方法などについて紹介していただきました。講演後の質疑応答では、ご参加された医師から、「積極的に“第2段階のACP”に取り組んでいきたいと、力強い思いが聞かれました。今後は、多職種連携ツール「シズケア*ささえあい連携シート」の活用に向けた勉強会や「第2段階のACPの取り組み事例」など、開催を検討していきたいと思っております。

賀茂地区在宅医療介護連携推進支援センター事務局 木村 健吾



第60回 メディカル健康講座の開催報告

6月29日(日曜日)、下田市民文化会館大会議室にて、メディカル健康講座を開催致しました。

今回は、当院内科医で産婦人科医の資格を持つ吉田貴光先生に、『なかなか聞けない婦人科に関する病気について～月経困難症から更年期障害まで～』と題して講義を行って頂きました。当講座は比較的高齢者の参加が多いですが、今回は幅広い年齢層の方にご参加頂きました。

講義ではそれぞれの病気について、症状、診断方法、原因、治療法など、図やデータを交え分かり易く解説され、また子宮頸がんワクチンについてもこれまでの経緯を踏まえ、その有効性を詳しく説明していただきました。

講義を通じて、女性特有の病気には症状に対する理解とその方への配慮も大切であること、また検診の有効性を学ぶことが出来ました。

次回の講座は、9月13日(土)下田市民文化会館にて13時半より、当院内科医村松未来先生による、『～お腹の声を聞こう～便秘の原因と解決法』について開催致します。

地域医療連携室 課長 木村 健吾



発行

下田メディカルセンター

〒415-0026 静岡県下田市六丁目4-10

TEL.0558-25-2525 FAX.0558-25-5050

<https://www.s-m-a.or.jp/shimoda/>

発行責任者 地域医療連携室長 浅野 好章



伊豆急下田駅から徒歩10分圏。路線バスのバス停も目の前にあり、電車やバスでスムーズに来院いただけます。また、敷地内に300台収容の駐車場を用意しております。



SHIZUOKA MEDICAL ALLIANCE

医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 運営施設

みなとクリニック(外来)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674

TEL.0558-62-0005

しらはまクリニック(外来)

〒415-0012 静岡県下田市白浜1528-2

TEL.0558-27-3700

なぎさ園(介護老人保健施設)

〒415-0152

静岡県賀茂郡南伊豆町湊674

TEL.0558-62-6800